

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アニーの家（保育所等訪問支援）		公表日		令和8年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		アニーの家の療育や使用してる教材や支援計画を持参しています。	訪問先の先生方も多忙のため、時間不足でお伝えできないこともあります。時間帯の変更をしていく必要があると思います。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		担当者は、療育も兼務しているため、具体的な提案ができるように配慮しています。	利用希望者の希望時期が重なると、全て対応できない時もあります。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		療育現場の児発管や職員と共有しています。	振り返りの時間がとれない時があります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年アンケートを実施して評価していただいています。また訪問の報告時に感想をいただいています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問前や訪問当日に把握しています。	訪問後の報告をより丁寧に行っています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価をまだしていません。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月2回全体ミーティングで研修を行います。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		個別支援計画ではアセスメントやモニタリングを一人一人にあわせて作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		訪問した職員から、訪問後に療育の担当者と毎回共有するようにしています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	訪問先もお忙しいので、訪問時と必要に応じての連携になっています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保護者のご意見も共有するようにしています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		5領域に基づいたアセスメントやモニタリングをしています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画には具体的に個々の支援内容をいれています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問する担当職員には事前に話をしています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問当日の朝、確認・共有しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問後に振り返りをしています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		事前の電話確認は行っていますが、当日の対応は難しいところがあります。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録は毎回丁寧にしています。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングと計画の更新をしています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者または自発管が担当者と一緒に訪問しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		毎年春に、地域の医療機関の先生とも連携しています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご希望された方は学校に何うようになっています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		毎年TEACCHプログラムの岡山支部長をされている、川崎医療福祉大学の重松先生にお越しいただいています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		管理者又は児発管が参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		基本、通所で送迎をせずに毎回保護者との面談をしているので、共通理解をさせていただいています。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者の方向けの研修会を毎年公民館で開催しています。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に、説明をさせて頂くようになっています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事前の電話で説明させていただいています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		まず保護者の方のご希望をお聞きすることから開始し、訪問時期の調整を進めています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者の方の同意を得てから、園や学校に連絡をしています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の通所時の面談や、送迎時の声かけから、相談に応じています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	父母の会はありません。会に参加することでご負担がないよう、アニーの家で保護者の方向けの講演会を開き、保護者の交流の場もてるようになっています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけご希望に沿って対応しています。急な申し込みにには対応できない時があります。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		公式LINEで療育の予定を発信したり、HPのお知らせで日常の様子を発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報や療育の記録など、個人が特定できるような内容が記録されるファイルの管理に気を付けています。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々のお子様や保護者の方に合わせて、LINEや電話、メールにて対応させていただいています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問後に電話での個別相談をお受けしています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	○	アンケートの返信で対応しています。	訪問先の先生方も多忙のため、必要のある場合個別の連絡を行なっています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		毎回A4レポート2～3枚の報告書を作成し、保護者へ報告の面談をした後、訪問先へお渡ししています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		報告時に、個人情報の取扱いに注意して対応しています。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		ご質問等があれば、すぐに電話にて対応しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員ミーティングにより周知し、訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				事業所内での支援になりますので、緊急時は訪問先のマニュアルに従います。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや苦情の対応は、全体ミーティングで共有し、再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年3回以上は研修の機会をもっています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束はしない旨、禁止の研修を職員向けに行なっています。	